NIE実践報告

1．タイトル：**わたしたちの熊本県のことをもっと知ろう**

2．学校名

熊本県熊本市立小島小学校

3．実践者名（代表者名）

森山政司

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・社会　36人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞で見つけた熊本県の市町村のことを調べよう

7．目標(狙い)

新聞で見つけた熊本県の市町村の記事から、総合的な学習の時間を使って調べることによって、私たちが住む熊本県のことに関心を持ち、社会科で熊本県のことを学習していくための意欲を持つ。

8．評価の視点

自分が見つけた新聞記事の熊本県の市町村のことをみんなにどれだけ発表できるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞を使って調べたことを発表しよう［総合的な学習の時間：12時間］
わたしたちの熊本県［社会：3時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①私たちが住む熊本県のことをどれだけ知っているか話し合う。（1時間）
②熊本県の新聞記事を集める。（3時間）
③集めた新聞記事の中から、自分が興味のある新聞記事を選び、内容を考える。（2時間）
④新聞記事の市町村のことを調べる。（4時間）
⑤新聞記事の内容や調べたことをまとめる。（3時間）
⑥まとめたことを発表する。（2時間）

（留意点）
- **わたしたちが住む熊本県のことを知らせたいという意欲を持たせ、調べさせる。**
- **調べたことが相手に伝わるような発表の仕方を考えさせ、壁新聞にまとめさせ、ポスターセッションという形で、発表させる。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

熊本県のことがよくわかった、詳しく調べられた、たくさん発表できたという意見や新聞の内容が難しかった、うまく調べられなかった、調べたことを相手に伝えるのが難しかった、という感想があった。発表を聞いている子供たちからは、知らないことがたくさんあったという意見と分かりにくかったという意見があった。

12．成果と課題

子どもたちは、意外と自分たちが住む熊本県のことを知らなかったが、新聞記事を活用したことで、今まで知らなかった市町村のことや、熊本県の各地で行われている行事や地域の特色を知ることができ、興味を持った市町村のことを、意欲的に調べることができた。4年生ということで、新聞記事の内容を考えることが難しかったので、記事の内容について、深く考えることができなかった。また、調べたことを相手に伝えるのに、壁新聞にまとめ、ポスターセッションという形をとったが、もっと相手に伝わるような伝え方の工夫も必要である。この機会に、これからの熊本県の課題についても考えることができたらと思う。